

# 日本児童英語教育学会 (JASTEC)

## 第46回 全国大会 《最終案内》

### 大会テーマ：次期学習指導要領につなげる、新しい児童英語教育の探究

2017年に告示された学習指導要領から約10年が経過し、現在、次期学習指導要領の策定に向けた議論が進められています。現行の学習指導要領では、「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」「学びに向かう力・人間性等」の三つの柱を基盤として、児童生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、多くの教員や教育関係者の皆様が熱意をもって教育実践に取り組んでこられました。

一方で、生成AIをはじめとするテクノロジーは急速な進化を遂げており、教育現場においても、その可能性や活用方法について試行錯誤が続いています。教育を取り巻く環境が大きく変化する中で、これからの英語教育はどのようにあるべきかを改めて問い直す時期に来ているのではないのでしょうか。

本大会では、これまでの児童英語教育を俯瞰しながら、次期学習指導要領に向けた新たな英語教育の方向性について、皆様とともに考える機会としたいと考えております。また、JASTECとして、文部科学省および関係機関に向けた次期学習指導要領への提言も予定しております。

児童英語教育に関心をお持ちの方、日々の指導に悩みや課題を感じておられる方をはじめ、多くの皆様のご参加を心よりお待ちしております。

2026年5月吉日

日本児童英語教育学会 (JASTEC) 会長 泉 恵美子  
大会実行委員長 巽 徹  
大会事務局 加藤 拓由

- ◆日時：2026年 6月13日(土) 13:00~15:30 (オンライン受付 12:45~)  
6月14日(日) 10:00~16:40 (対面受付 9:30~)
- ◆会場：名城大学 ナゴヤドーム前キャンパス ※1日目のみWeb会議システムZoomで開催

〒461-8534 名古屋市東区矢田南4-102-9

JR中央本線・名鉄瀬戸線「大曾根」駅下車 徒歩約10分

地下鉄名城線「ナゴヤドーム前矢田」駅下車2番出口 徒歩約3分

ゆとりーとライン「ナゴヤドーム前矢田」駅から徒歩約5分

<https://www.meijo-u.ac.jp/about/campus/dome.html>

- ◆参加費： JASTEC 一般会員：無料 英語授業研究会会員：無料  
JASTEC 賛助・団体会員：3名まで無料 (お申込みは一人ずつお願いします)  
非会員 一般及び院生：2,000円 非会員 学部学生：無料

- ◆申込方法：会員・非会員・発表者共に、下記のイベントペイでの事前申し込みをお願いします。

オンラインは資料及び当日の接続情報をイベントペイからお送りします。

お申込に加えて、イベントペイからの申込受付メールが届いているか

ご確認ください。



URL：[https://eventpay.jp/event\\_info?shop\\_code=4315111658358156&EventCode=8658102550](https://eventpay.jp/event_info?shop_code=4315111658358156&EventCode=8658102550)

◆申込期間：2026年5月13日（水）～6月12日（金）17：00まで

※6月10日（水）18:00にZoom接続URL及び発表資料を配信いたします。

◆照会先：大会事務局 加藤 拓由（岐阜聖徳学園大学）[kato0116@gifu.shotoku.ac.jp](mailto:kato0116@gifu.shotoku.ac.jp)

◆プログラム（1日目）オンラインのみ

○（受付 12：45～ オンライン開始 13：00～）

全体司会 柳田 綾（桜花学園大学）

1 開会行事 13：00～

オンライン Room A

○ 開会の挨拶

JASTEC 副会長 中西 浩一（平安女学院大学）

○ 事務連絡

大会事務局 加藤 拓由（岐阜聖徳学園大学）

2 研究・実践発表 \*詳細は後掲の「研究・実践発表一覧」にてご確認ください。

セッション① 13:20 - 13:50

休憩・協賛企業オンラインループCM ①

セッション② 14:00 - 14:30

休憩・協賛企業オンラインループCM ②

セッション③ 14:40 - 15:10

3 JASTEC アピールの紹介 15：15～15：25（オンラインによる紹介）

オンライン Room A

○ アピールの紹介

JASTEC 会長 泉 恵美子（関西学院大学）

4 諸連絡 15：25～15：30

オンライン Room A

○ 事務連絡

大会事務局 加藤 拓由（岐阜聖徳学園大学）

5 会員総会 15：30～16：00（未定）

オンライン Room A

※Zoom接続情報は、全国大会と同じです

## ◆プログラム（2日目）対面のみ

○（受付 9：30～ 開始 10：00～）

全体司会 西尾 由里（名城大学）

### 1 開会行事 10：00～

#### A会場

- 開会の挨拶
- 事務連絡

JASTEC 会長 泉 恵美子（関西学院大学）  
大会事務局 加藤 拓由（岐阜聖徳学園大学）

### 2 実践ワークショップ 10：10～11：10

#### A会場

司会者：加藤 拓由（岐阜聖徳学園大学）

「学習者用デジタル教科書の活用と情報活用能力を育てる Can Do 評価」

提案者：長沼 君主（青山学院大学）

幡井 理恵（聖学院大学）

奥平 明香（琉球大学教育学部附属小学校）

#### B会場

司会者：巽 徹（岐阜大学）

「児童・生徒に自信を付けさせ、意欲を高める Small Talk の指導」

提案者：瀧澤 広人（岐阜大学）

常名 剛司（浜松市立富塚西小学校）

### 3 研究・実践発表 ＊詳細は後掲の「研究・実践発表一覧」にてご確認ください。

セッション① 11：20～11：50

事務連絡・協賛企業プレゼンテーション 11：50～12：00 A会場

昼食休憩・協賛企業展示 12：00～13：00 3階ホール他

セッション② 13：00～13：30

セッション③ 13：40～14：10

休憩・協賛企業展示 14：10～14：30 3階ホール他

### 4 JASTEC アピールの紹介 14：30～14：40

### 5 シンポジウム 14：45～16：25

#### A会場

「中教審外国語 WG の議論から読み解く、次期学習指導要領改訂のポイント」

コーディネーター：泉 恵美子（関西学院大学）

登壇者：亘理 陽一（北海道大学大学院）

登壇者：酒井 英樹（信州大学学術研究院）

### 6 閉会行事 16：30～16：40

#### A会場

- 閉会の挨拶
- 事務連絡

大会実行委員長 巽 徹（岐阜大学）

大会事務局 加藤 拓由（岐阜聖徳学園大学）

## 6月13日(土) <研究・実践発表一覧> 【全てオンライン (A~E 会場)】

会場 (司会)	オンライン A 会場 戸井一宏(広島文教大学)	オンライン B 会場 松宮奈賀子(広島大学)	オンライン C 会場 大瀧綾乃(静岡大学)	オンライン D 会場 長沼優子(浜松市立佐鳴台小学校)	オンライン E 会場 平本哲嗣(安田女子大学)
セッション ①	<p>小学生の英語文法意識はどのように形成されるのか—インタビュー調査に基づく認知過程の分析—</p> <p>アレン玉井光江(青山学院大学) 澁谷順子(青山学院大学)</p>	<p>音声から文字指導へつなげるための考察—小学校英語における音声指導の課題と4年生から5年生への接続—</p> <p>高橋美由紀(愛知教育大学) 西尾由里(名城大学)</p>	<p>英語の読み書き能力育成に関する小学校・中学校教員の意識調査—関連活動に対する責任認識と実施状況のずれ—</p> <p>羽山恵(獨協大学) 高橋博将(上尾市立原市南小学校) 勝呂奈緒(八潮市立潮止中学校) 中村恵美(開智学園)</p>	<p>小学校英語学習経験が教師の指導観に与える影響に関する考察—児童の主体性をめぐるピリーの世代間比較—</p> <p>小野祥康(北海道科学大学) 根岸清人(北翔大学) 志村昭暢(北海道教育大学)</p>	<p>児童のエンゲージメントを高める小学校英語授業作りの研究—教員養成大学での学生指導を通じた授業デザイン力の向上—</p> <p>高木浩志(奈良教育大学)</p>
セッション ②	<p>生成 AI 活用教材開発から発音指導支援へ—小学校英語におけるブラウザ型発音練習アプリの開発—</p> <p>阿部聡生(ネバダ大学リノ校博士課程・京都光華大学) 兼重 昇(大阪樟蔭女子大学) 河村 和紀(スタンフォード大学)</p>	<p>外国語活動における情報活用能力の一手前</p> <p>大江太津志(京都市立開晴小中学校)</p>	<p>小学校外国語活動における初期ライティング指導の一考察—4線ノートに見られる児童の表記分析を通して—</p> <p>松原留美(九州女子大学)</p>	<p>教員養成学生を対象とした英語絵本読み聞かせ実習の効果—教室英語力の向上と英語観の変容に着目して—</p> <p>矢野智子(京都文教大学)</p>	<p>小中接続を見据えた身体性重視による小中外国語指導の提案—教科書分析と教員志望学生の省察を通して—</p> <p>黒川愛子(帝塚山大学)</p>
セッション ③	<p>日本と韓国における初等教員養成課程履修学生に関する国際比較探査的研究</p> <p>フェネリー マーク(四国大学) 福田スティーブ 利久(文教大学) カイザーメイガン レネー(徳島大学) ラックストン・ロバート(四国大学) Hee Jeong Ihm(Seoul National University of Education)</p>	<p>教員養成課程における IRF を用いた「気づき」を促す授業設計</p> <p>榎本洋子(四天王寺大学)</p>	<p>小学校外国語授業における授業設計モデル「モレコ」の実践研究—PPPの再構成とティーム・ティーチングにおける有効性—</p> <p>岡田ひとみ(高松中央高等学校)</p>	<p>小学校外国語における児童のコミュニケーション能力育成を目指した授業づくり</p> <p>松下大介(佐賀大学教育学部附属小学校)</p>	<p>小学校外国語活動における相互行為の不成立—参与構造と応答の不在に着目して—</p> <p>松井恵美子(戸板女子短期大学)</p>

# 6月14日(日) <研究・実践発表一覧> 【全て対面 (A~E 会場)】

会場 (司会)	A 会場 工藤律子(大阪夕陽丘学園高等学校)	B 会場 赤沢真世(佛教大学)	C 会場 中西 浩一(平安女学院大学)	D 会場 國本和恵(岡山理科大学)	E 会場 箱崎雄子(大阪教育大学)
セッション ①	低学年児童の一斉・個別活動による 単語・表現の定着—授業実践とイン タビュー・テストの結果から—  物井尚子(千葉大学)	教室内教師英語力評価尺度を活用し た教員研修—Small Talk 作成に焦点 をあてて—  幡井理恵(聖学院大学) 引山大士(高槻市立日吉台小学校) 長沼君主(青山学院大学) 狩野晶子(上智大学短期大学部)	高学年児童のリスニング処理におけ る語彙聴取の発達過程—外国語科 2 年間を通じたディクテーション回答 の縦断的調査—  名淵浩司(東京学芸大学附属世田谷小学 校) 藤井和樹(東京学芸大学大学院生)	小学校英語の読む活動における効果 的な ICT 使用—文献研究にもとづく 指導上の留意点の提案—  山内優佳(広島大学)	生成 AI との個別対話を協働的な英語 学習へつなぐ授業設計—共有デジタ ルシートと教師の促しが支える意味 内容の共有と形式への気づき—  岡澤唯一(暁星小学校) バトラー後藤裕子(ペンシルバニア大学)
セッション ②	日本の小学 3 年生における英語発音 の特徴  西尾由里(名城大学) 上斗晶代(県立広島大学)	児童の主體的な関与を支える相手選 択と目標設定の検証—小学校外国語 科における自律性支援の視点から—  阿部巧(宇都宮共和大学) 北倉謙子(西宮市立上ヶ原小学校)	高学年児童における絵本音読から英 文音読への応用可能性  藤井和樹(東京学芸大学大学院生) 大石弥歩(東京学芸大学大学院生) 名淵浩司(東京学芸大学附属世田谷小学 校)	台湾 2030 の言語教育政策および CLIL と ICT の視点から日本の小学 校英語教育への示唆(2)  二五義博(山形学芸大学) 桐生直幸(鎌倉女子大学短期大学部)	自信をもって自らの思いを表現する 楽しさを実感し、主体的に学びに向 かう児童の育成—児童の興味・関心 に基づいた単元構想と外国語科独自 の学習サイクルの構築を通して—  蟹江麻衣(春日井市立高森台小学校) 加藤拓由(岐阜聖徳学園大学)
セッション ③	X 県 6 年生児童の文法意識について —用法基盤理論の観点より—  澁谷順子(青山学院大学)	小学校外国語科におけるリキャスト の細分化と児童の誤り種別との関連 性—分割と抑揚に着目した実践的 分析—  平山伸正(札幌市立鴻城小学校)	外国語科における教師の発話言語の 検討—児童の情意面への影響に着目 して—  大石弥歩(東京学芸大学大学院生)	初級学習者の難易度認知の変容から みる『《初級学習者版》英語を無理な く読める 7 つのステップ』の長期 的・多角的検証—ボトムアップ指導 とトップダウン指導の相補的機能に 着目して—  高橋博将(上尾市立原市南小学校)	外国語教育における他教科連携と異 文化理解—初等教育教員養成課程の 学生の指導意識を対象に—  安達理恵(椋山女学園大学)